

としょかんNEWS 第114号



2016年9月7日
湘北短期大学図書館

さぼ一ち倶楽部、活動報告

● 第13回 ビブリアバトル開催！

さぼ一ち倶楽部が8月23日に第13回 ビブリアバトルを開催しました。さぼ部5名と図書館員2名が参加。総勢7名がそれぞれ持ち寄った本を紹介し、チャンプ本の投票を行いました。それぞれ好きな本について熱く語り、その後のディスカッションも盛り上がりました！

第13回 ビブリアバトル「チャンプ本」発表！

- 【1位】 米澤穂信著『儂い羊たちの祝宴』(Fさん/G2)
- 【2位】 越谷オサム著『金曜のバカ』(職員)
- 【3位】 米澤穂信著『さよなら妖精』(職員)



● 夏休みの遠足で、国立国会図書館を見学！

さぼ一ち倶楽部の夏休みの遠足として、8月30日に店頭選書ツアーと国立国会図書館の見学を行い、8名のメンバーが参加しました。

【選書ツアー at 三省堂書店 神保町本店】

三省堂書店の神保町本店で、さぼ一ち倶楽部としての選書ツアーを行い、合計155冊の本が選ばれました。

選ばれた本は、図書館のさぼ一ち倶楽部コーナーに展示しますので、ぜひご覧ください。



【国立国会図書館の見学】

午後は国立国会図書館の見学ツアーに参加。案内映像を視聴し、館内(本館・新館)の利用スペースを見学しました。また、普段は入ることができない地下8階まである新館書庫スペースにもご案内いただき、貴重な体験となりました。

アクティブラーニングスペースの書架増設について

アクティブラーニングスペースの書架増設に伴い、【参考図書コーナー】【国際交流コーナー】【絵本コーナー】の一部を移動しました。書架の移動先は下記の〈書架配置図〉のとおりです。配置が変更になって本が見つからないという場合には、カウンターまでおたずねください。

書架増設により【絵本コーナー】の収容冊数が増え、本がギッシリ詰まった状態が改善。書架にゆとりができたことで、絵本や紙芝居が探しやすくなりました。是非ご活用ください！

〈書架配置図〉



【連載】「ルーエッセイ(32) 岡本太郎の言葉

生活フロテュース学科 林 典子

岡本太郎の言葉といえば、「芸術は爆発だ！」が有名だが、彼の言葉には数々の名言がある。岡本太郎著『強く生きる言葉』（イースト・プレス、2003年）には、「ぼくは口が裂けてもアキラメロなどとは言わない」など岡本太郎が日常の中でつぶやいた言葉がたくさんおさめられている。これらの言葉には、私の心の奥底にまで響き渡るエネルギーがある。

私は小学6年生のときに、岡本太郎の代表作「太陽の塔」のある万博記念公園の近くに住んでいた。当時、2歳だった弟の面倒を見るお姉さんであった私は、休みのたびに万博公園へお付き合ひさせられていた。弟は、「太陽の塔」が彼の視界に入ると、何度も見ているのに毎度はしゃいでいた。その様子を見ながら、この変な顔の大きな物体がそんなにおもしろいかなー、と冷めていた私も、段々感化されて「太陽の塔」が見えると気持ちが昂り、「太陽の塔」が見えなくなると何かが足りない、そんな気持ちになるようになっていった。

「太陽の塔」は、1970年に開催された日本万国博覧会のシンボルとして作られたことは知っていたが、どのようなつくりになっているのか詳しくは知らなかった。先日、某テレビ番組で、「太陽の塔」の内部には「生命の樹」という巨大なモニュメントがあり、当時はエスカレーターで観覧できるようになっていた、ということを知った。私はこの博覧会に連れて行ってもらった写真を見たことがあったので、自分もここに入ったのかもしれない！と思い、すぐに親に聞いてみたが、あまりの混雑で中には入れなかったということだった。現在、「太陽の塔」の内部の一般公開が計画されているようなので、公開がとても待ち遠しい。

そして、この内部の映像を見たときに、やはり岡本太郎さんはただ者ではないな、と唸ってしまった。あれから何年も経って、日本の生活はこんなにも変わってきているのに、岡本太郎のエネルギー、情熱は変わらず私の心にまっすぐに届く。